



水田 恒一 議員

「ハコもの」建設は「考え」を

問

①全国で閉館するホールも多い。今さら1000余席のホールが必要なのか。
 ②民族歴史資料館等も赤字続きで閉館も多い。優秀で熱心な学芸員一人の方が価値がある。
 ③道州制や大松山市構想で、伊予市が何十年も続かない。必要最小限の市役所にすべき。

答 総務部長

①文化ホールについて、市民の皆様からさまざまなご意見をいただいているが、現在のところ具体的な計画の策定には至っていない。今後、専門性を要する施設なので、庁舎等建設検討委員会及び専門家

や関係者を交えて、規模や機能等について十分な検討を行いたい。

②民族歴史資料館は、図書館機能に合わせた形で計画しており、具体的な規模、内容等はこれからである。

文化ホール、図書館、民族歴史資料館は市民の文化の振興を図っていく上で必要な施設であり、順次計画を実行に移したい。

③庁舎建設の計画については、基本構想の策定に取りかかったばかりである。規模についても記載基準や今後の職員数を考慮し、過大な施設規模とならないよう十分な検討を行い、市民の皆様のご理解を得ながら進めていきたい。

問

各種滞納金の「掃をいかに工夫しているか

①「払えない」と「払わない」と厳しく判断し、払わない人には、法的手段も検討しては。
 ②学校給食費の滞納一掃には、教師の負担を減らす対策を。
 ③多重債務者を弁護士会に紹介し、過払い金を取り戻し、滞納金解消と生活再建へ。

④ページーシステムの導入を。
 ⑤全庁一丸の集金体制を。

答 中村市長

⑤課の単位を超えて横断的に全庁で推進するために、今後、連絡協議会を設けて、市全体として協力・強調体制を整備し、管理職による訪問強化月間についても検討したい。

答 春田教育長

②悪質な未納者に対して、大洲市は財産の強制執行も可能な体制を整えている。今後、他市の先進的な取組を参考に法的措置も可能な制度を構築し、先生方へ負担が少なくなるよう取り組んでいきたい。

答 総務部長

①昨年度は41件の差押えを実施している。債権にはいろいろな種類があり、その種類によって徴収方法も異なるので、新たに設置する連絡調整会議において、全庁的に統一した対応を基本に検討を進めたい。

③多重債務等の相談を受けた場合は、ケースに応じ日本司法支援センターいわゆる法テラスまたは弁護士会等へ紹介、取次ぎを行っている。

過払い債権の差押えについては、他市町での取組状況も研究し、今後の課題としたい。

④住民の利便性の向上を図り、収納率の向上や内部事務の効率化が見込める反面、手数料の負担増加など、公平性に関して解決すべき課題がある。

制度導入には、コンピューターシステム的大幅な変更を伴うことから、費用対効果も含めた検討も必要である。

翠小等の小規模校の今後

問

①小規模特認校に指定し、校区の弾力化を図っては。



エコ改修なった翠小学校

②特に翠小は、エコ改修した校舎を「売り」に、市外からも積極的に受け入れては。
 ③翠小を地域交流センターとして活用するため、放課後等に図書館を地域住民に開放してはどうか。

答 春田教育長

①児童数の増加や地域活性化にも寄与する非常に有効な施策であり、早急に学校及び地元と協議したい。

②区域外通学については、他市町との相互理解と連携が必要である。ホームページ等を活用して、翠小学校はもとより伊予市の魅力ある情報を全国へ発信するなど啓発活動に力を入れ、転入学の希望があれば積極的な受け入れを検討したい。

③図書館などを開放する場合、職員の配置や警備の問題がある。しかし、翠小学校ではコミュニティゾーンとして校舎内に地域との交流の場を設けているので、積極的な活用について検討したい。

その他の質問事項

- ・地デジ化の問題点
- ・合併浄化槽の今後